

【 JIS L 0001 新記号 】

JIS L 0001 (一部の表現を変更しています)			
1. 洗濯の表示記号			
	液温は 95℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる		
	液温は 70℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる		
①	②	① 60℃を限度とし、通常の洗濯処理 ② 60℃を限度とし、弱い洗濯処理	
			
①	②	① 50℃を限度とし、通常の洗濯処理 ② 50℃を限度とし、弱い洗濯処理	
			
①	②	③	① 40℃を限度とし、通常の洗濯処理 ② 40℃を限度とし、弱い洗濯処理 ③ 40℃を限度とし、非常に弱い洗濯処理
			
①	②	③	① 30℃を限度とし、通常の洗濯処理 ② 30℃を限度とし、弱い洗濯処理 ③ 30℃を限度とし、非常に弱い洗濯処理
			
	液温は 40℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる		
	洗濯処理はできない		
2. 漂白処理の表示記号			
①	②	① 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる ② 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない	
			
	漂白処理はできない		
3. しぼり方の表示記号			
(該当なし)			

JIS L 0001 (一部の表現を変更しています)

4. 乾燥の表示記号

(タンブル乾燥) *家庭でのタンブル乾燥のみの記号

①	②	③	① タンブル乾燥が可能, 高温乾燥: 排気温度の上限は最高 80°C ② タンブル乾燥が可能, 低温乾燥: 排気温度の上限は最高 60°C ③ タンブル乾燥禁止

(自然乾燥)

①	②	③	④	① つり干し乾燥がよい ② ぬれつり干し乾燥がよい ③ 日陰でのつり干し乾燥がよい ④ 日陰でのぬれつり干し乾燥がよい
①	②	③	④	① 平干し乾燥がよい ② ぬれ平干し乾燥がよい ③ 日陰での平干し乾燥がよい ④ 日陰でのぬれ平干し乾燥がよい

5. アイロン掛けの表示記号

①	②	③	アイロン仕上げ処理ができる ① 底面温度 200°Cを限度 ② 底面温度 150°Cを限度 ③ 底面温度 110°Cを限度とし, スチームなしでアイロン仕上げ



アイロン仕上げ処理はできない

6. 商業クリーニング

(ドライクリーニング)

①	②	パークロロエチレン及び記号Ⓕの欄に規定の溶剤でのドライクリーニング処理)ができる ① 通常の処理 ② 弱い処理
①	②	石油系溶剤 (蒸留温度 150°C~210°C, 引火点 38°C~でのドライクリーニング処理)ができる ① 通常の処理 ② 弱い処理
	ドライクリーニング処理ができない	

(ウエットクリーニング)

①	②	③	ウエットクリーニング処理ができる ① 通常の処理 ② 弱い処理 ③ 非常に弱い処理
	ウエットクリーニング処理はできない		